

# 明治時代に活躍した阿久比の偉人「端山忠左衛門」

NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公「渋沢栄一」と同じ激動の時代を生きた阿久比の偉人をご紹介します

端山忠左衛門は、阿久比の植村で育ち、県会議員や国会議員を務めるとともに、産業振興にも携わり、「知多半島の渋沢」としての役目を果たした方です。



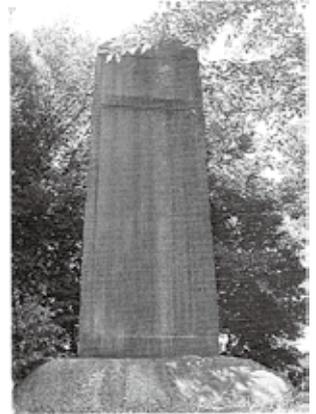
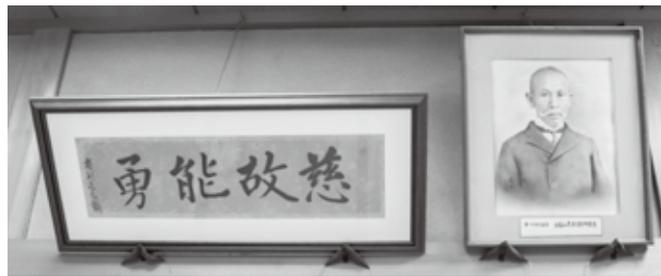
端山は弘化2年(1845年)に碧海郡大浜村(現在の碧南市)に生まれ、5歳の時に阿久比村の端山家の養子となりました。蓮慶寺住職佐治恵潭師に漢籍(中国の書物)を学び、画家月耕より歴史画、茶道を習得し、家業は紺屋を営みました。

35歳の時に初代愛知県会議員として知多郡より選出されました。40歳の時に再度県会議員に当選し、その後、南設楽郡長を命ぜられ、のち八名郡長も兼任しました。

明治23年(1890年)、46歳の時に日本で初めての国会が開かれることになり、第1回衆議院選挙に立候補して当選し、阿久比町として第一号の代議士となりました。伊藤博文とも交友があり、大成会の組織に尽力しました。翌年は、濃尾地震のため損壊した県公園犬山城の復興に尽力し、その後、県会議員や、愛知県地方森林会議員、愛知県沿海漁業組合の頭取となり、業界の発展に寄与しました。

39歳の時に東海新聞を発行したほか、56歳の時に知多紡績株式会社を設立し、自ら専務取締役役に就任、経営にあたりました。大正4年(1915年)、阿久比の植村で71歳の生涯を閉じました。葬儀は植大の蓮慶寺で盛大に行われました。

右の写真は、端山の三回忌を迎えるに当たり、端山の功績を称え、慕う人々の寄進によって建てられた石碑です。(石碑は植の神明社の裏にあります) また、左の端山の肖像画などは植公民館内にあります。



端山忠左衛門彰徳碑

■ 問い合わせ先 政策協働課調査広報係 ☎(48) 1111(内1310・1311)

## フェイス トゥ フェイス (みんなで協働推進ページ)

**FACE TO FACE** 顔のみえる関係づくりでひろげる阿久比のまちづくり

音楽だ〜いすき!

### 音楽物語「妖怪づくし」



日本に昔からいる「妖怪」たちの話が音楽と歌と語りによる「音楽物語」になりました。大人から子どもまで観て聴いて楽しめるコンサートです。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止する場合があります。

■ 日時 12月12日(日)午後2時~(開場は午後1時30分)

■ 会場 アグピアホール(中央公民館多目的ホール)

■ 出演者 Musikus(ムジクス)作曲 倉知竜也さん  
森川みづきさん(フルート)、永友宏美さん(ヴィオラ)、守光明子さん(ピアノ)、植田光紀さん(マリンバ・打楽器)、加藤愛さん・佐藤安莉さん・鈴木里奈さん(歌)

■ 入場料 無料

■ 定員 先着135人(要整理券)

■ 整理券配布日 12月3日(金)、4日(土)午前9時~正午  
※ 配布は整理券が無くなり次第終了します。

■ 整理券配布場所 中央公民館本館1階ロビー

■ 主催・問い合わせ先 好き好きミュージック(大村) ☎(48) 5686



「住民税1%町民予算枠制度」  
わくわくコラボ採択事業



▲ 令和元年度に開催された「音楽だ〜いすきスペシャルコンサート」

